

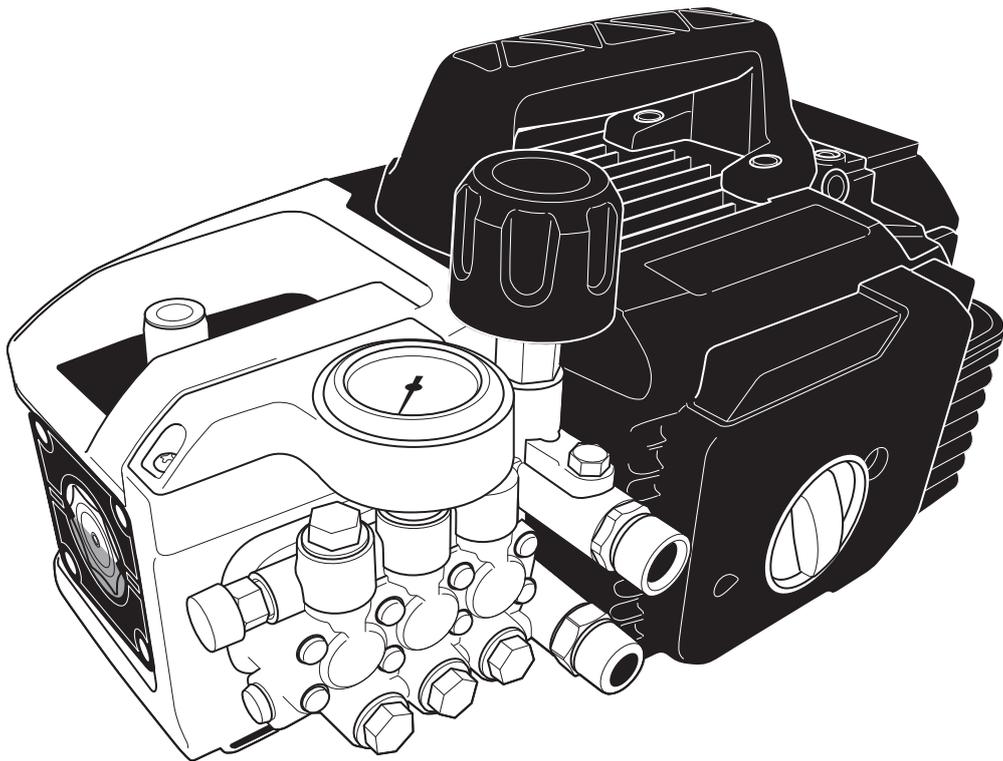
# Asada

環境を守る親切ツール

## 高圧洗浄機

# 8/60 ・ 8/60P

### 取扱説明書



【ご使用前に必ず本書をお読みください。】

# 高圧洗浄機 8/60・8/60P

## 安全にご使用いただくために

このたびは、高圧洗浄機 8/60・8/60P をお買い上げいただきましてありがとうございます。

- この取扱説明書は、お使いになる方に必ずお渡しください。
  - ご使用前に必ず本書を最後までよく読み、確実に理解してください。
  - 適切な取扱いで本機の性能を十分発揮させ、安全な作業をしてください。
  - 本書は、お使いになる方がいつでも取り出せるところへ大切に保管してください。
  - 本機を用途以外の目的で使用しないでください。  
本機は、各現場での洗浄作業に使用するものです。製造ラインなどに設置して使用するものではありません。
  - 商品が届きましたら、ただちに次の項目を確認してください。
    - ・ ご注文の商品の仕様と違いはないか。
    - ・ 輸送中の事故等で破損・変形していないか。
    - ・ 付属品等に不足はないか。
- 万一不具合を発見された場合は、至急お買い上げの販売店、または弊社営業所にお申し付けください。  
(本書記載内容は、改良のため予告なしに変更することがあります。)

## 警告表示の分類

本書および本機に使用している警告表示は、次の2つのレベルに分類されます。



**警告**

本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く可能性がある危険な状態。



**注意**

本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、軽症または中程度の傷害を招く可能性がある危険な状態。または、本機に損傷をもたらす状態。

## 目次

安全上のご注意	2	保守・点検	17
製品の構成	7	ストレーナとラインフィルタの点検	17
各部の名称	7	ノズルの清掃	18
仕様	8	その他の点検	18
標準付属品	8	ポンプオイルの点検・交換	19
準備	9	修理・サービスを依頼される前に	21
電源の確認	9		
ポンプの確認	9		
トリガーガン・高圧ホースの接続	10		
カプラの接続方法	11		
吸水ホースの接続	12		
使用方法	13		
始動方法（エア抜き）	13		
圧力調整方法	14		
洗浄作業	14		
洗管ホースの使用方法	15		
作業の終了と水抜き方法	16		

# HIGH PRESSURE CLEANER 8/60・8/60P

## 安全上のご注意

- ここでは、本機を使用するにあたり、一般的な注意事項を示します。
- 作業要所での詳しい注意事項は、この後の各章で記載しています。

### 警告：電源・電源コード

- ◆ **電源は必ず所定の種類、容量をご使用ください。**  
発熱、発煙、発火の原因となります。  
機銘板や本書に記載されている仕様を参照してください。
- ◆ **機銘板に記載されている周波数で使用してください。**  
モータの異常過熱によって、発火する恐れがあります。
- ◆ **濡れた手で電源操作しないでください。**  
濡れた手で電源プラグを抜き差ししたり、電源スイッチを操作すると感電する危険があります。
- ◆ **必ず接地（アース）をしてください。**
- ◆ **電源コードは他の電気器具と併用したり、タコ足配線をしないでください。**  
火災の原因となります。
- ◆ **延長コードは使用しないでください。**  
やむを得ず使用する場合は、線径 2mm<sup>2</sup>で 10 m 以下の物を使用してください。
- ◆ **電源プラグは、常に点検して異常がないことを確認した上、ガタつきがないようにしっかりとコンセントに差し込んでください。**  
電源プラグに、ホコリ、油脂分が付着していたり、接続が不完全な状態では感電や火災の原因となります。
- ◆ **電源コードを引っ張ったり、電源コードでプラグの抜き差しを行わないでください。**

### 警告：設置のときに

- ◆ **可燃性液体（シンナー等）やガスのある場所で使用しないでください。**  
また、本機のまわりに引火物を置かないでください。  
スイッチは開閉時や使用中火花を発生することがあります。
- ◆ **本機は水平な場所に設置してください。**
- ◆ **本機の上に物を置かないでください。**

# 高压洗浄機 8/60・8/60P

## ⚠ 警告：お取り扱いについて

- ◆ **改造は絶対に行わないでください。**  
異常な動作の原因となり、ケガや故障の原因となります。
- ◆ **本書、および弊社カタログに記載されている指定の付属品や別販売品以外は使用しないでください。**  
事故の原因となります。
- ◆ **作業場所は整理・整頓し、いつもきれいな状態で十分な明るさを保ってください。**  
作業環境が悪いと事故の原因になります。
- ◆ **目を保護するために、必ず保護メガネを着用してください。**  
噴射水が砂や泥などと一緒に跳ね返ってることがあります。
- ◆ **ゴム靴等を履き、濡れないようにしてください。**  
濡れた床で作業をする場合には、ゴム靴などを履いて濡れないようにするとともに、感電には十分注意してください。感電する危険があります。
- ◆ **関係者以外は、作業場所に近づけないでください。特にお子様には、十分注意し絶対に触らせないでください。**
- ◆ **疲労・飲酒・薬物等の影響で作業に集中できないときは、操作しないでください。**
- ◆ **本機を落としたりぶつけた場合は、破損・亀裂・変形などがなければ点検してください。**  
破損・亀裂・変形などがある状態で作業を行うと、けがや事故の原因となります。
- ◆ **修理技術者以外は、保守点検に関する必要以上の分解をしないでください。**
- ◆ **ガンを絶対に人や動物、電気器具類に向けしないでください。**  
誤って噴射すると大変危険です。  
本機や他の電気器具、電源などに噴射すると、ショートしたり感電する恐れがあります。
- ◆ **硝子などの粉碎されやすい物に向けて噴射する場合は、十分注意して行ってください。**  
対象物が粉碎、破壊されて危険です。
- ◆ **間違いなく取り扱うため、各部の操作に慣れ素早い停止方法を習得してください。**
- ◆ **本機の異常（異臭・振動・異常音など）に気づいたときは、ただちに運転を停止し、本書のP.21「修理・サービスを依頼される前に」を参照してください。**  
また、むやみに分解せず点検や修理を依頼してください。  
修理はお買い上げの販売店または、弊社営業所へお申しつけください。
- ◆ **結果の予測ができない、また確信の持てない取り扱いはしないでください。**
- ◆ **本機を使用目的以外の用途には使用しないでください。**  
本機は一般洗浄作業に使用してください。  
装置や製造ラインに組み込み、無人で使用することはできません。
- ◆ **噴射を停止して電源を切っても、ポンプ内や高压ホースには残留した高压水がありますので、一度トリガーを引いて内部の圧力を逃がしてください。**  
不意に、トリガーが引かれると高压水が噴射して危険です。

# HIGH PRESSURE CLEANER 8/60・8/60P

## 警告：お取り扱いについて

- ◆ 本機を転倒させないように注意してください。
- ◆ 運転中および停止直後はモータや、ポンプおよびその周辺は熱くなっていますので、手や肌が触れないようにしてください。
- ◆ 機械本体を高圧洗浄しないでください。
- ◆ ガンの取り扱いには十分注意し、不意の噴射による事故防止に心がけてください。
- ◆ ガンのトリガーを引いたままの状態で固定しないでください。  
不意に高圧水が噴射されると危険です。
- ◆ 高圧ホースを持って強く引っ張らないでください。  
本機が転倒して、事故の原因になり危険です。
- ◆ ガン、ランスおよびホースなどの接続はゆるんだり、外れたりすることのないように確実に接続してください。
- ◆ 本機から離れるときには、スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。  
思わぬ事故の原因になります。
- ◆ 降雨や雷鳴時は屋外での作業には使用しないでください。
- ◆ 本機に水や油などがかからないようにしてください。かかった時は乾いた布でよく拭き、十分に乾燥させてください。
- ◆ 機械の故障（ガンの故障やノズル詰りなど）で高圧ホースに非常に高い圧力を蓄圧している場合もありますので無理に接続金具を外さないでください。

## 警告：お手入れの時に

- ◆ 部品交換・清掃・点検時は必ずスイッチを切って、電源プラグを抜き、熱部を冷却させてから行ってください。  
運転中や停止直後は、モータやポンプ、およびその周辺が大変高温になっており、火傷をする恐れがあります。
- ◆ オイルの補給後はオイルゲージ付キャップを確実に締めてください。  
熱いオイルが飛散する恐れがあります。

## 警告：保管の時に

- ◆ 本機を操作しないときは、乾燥した場所で子供の手が届かない、又は鍵のかかる場所に保管してください。

# 高圧洗浄機 8/60・8/60P

## ⚠ 注意：お取り扱いについて

- ◆ 輸送用キャップからオイルゲージ付キャップへ必ず交換してください。  
ポンプからのオイル漏れや、本機を破損する恐れがあります。
- ◆ 工業用水や井戸水、泥水、海水、川水などは使用しないで、必ず水道水を使用してください。  
本機的能力低下や、ポンプの故障の原因となります。
- ◆ 水道水は、お湯を使用しないでください。  
本機使用の推奨温度は0℃～40℃です。吸水する水温は最高40℃までです。
- ◆ 作業前には、必ずガン・高圧ホース・洗管ホースなど各付属品を点検してください。  
これらの付属品に損傷があった場合、高圧水が噴出します。  
特に、洗管ホースに損傷があった場合、作業中に先端部が破損し、パイプ内に部品が残る場合があります。
- ◆ 冬期、水抜きを忘れ、凍結をしていると思われるときは、ぬるま湯などで高圧ポンプ及び配管ほか付属品の氷を溶かしてからご使用ください。  
無理に原動機を起動させますと故障の原因になります。
- ◆ 圧力の調整は、必ず所定の範囲内で行うようにしてください。  
上げ過ぎや下げ過ぎは故障の原因になります。
- ◆ 本機は水平を保ち、傾けないようにしてください  
本機を傾けると、オイル漏れを起こす可能性があります。
- ◆ 本書のP.17「保守・点検」に従い、各部の保守、点検を行ってください。
- ◆ ガンを噴射する時に高圧水による反動がありますので、両手でしっかり握ってください。
- ◆ 運転中、ポンプより少量の水が漏れることがありますが、1分間に5滴程度までの水漏れは故障ではありません。それ以上の水漏れが発生している場合には、販売店または、弊社へ連絡してください。
- ◆ 空運転は絶対にしないでください。  
通常、始動後約10秒程度で吸水をします。それ以上（最大1分間）たっても吸水しない場合は異常です。  
運転を中止して原因を調べてください。（P.21「修理・サービスを依頼される前に」を参照）
- ◆ 吐出された水を飲用などに用いないでください。
- ◆ 高圧ホースを延長する場合は、仕様書の規格範囲内にしてください。
- ◆ アスベストや危険粉塵を含む環境や、放射線に被曝した恐れのある環境等で使用もしくは保管された機械は、修理者の健康を害する恐れがある為、修理はお受けできません。
- ◆ 水道に直結して使用する場合は、地方自治体の水道法の法的規制を受ける場合がありますので、詳細については所轄の自治体にお尋ねください。
- ◆ ストレーナは必ず付けて使用してください。
- ◆ 発電機をご利用の場合は、インバータ付2.8KVA以上をご用意ください。

# HIGH PRESSURE CLEANER 8/60・8/60P

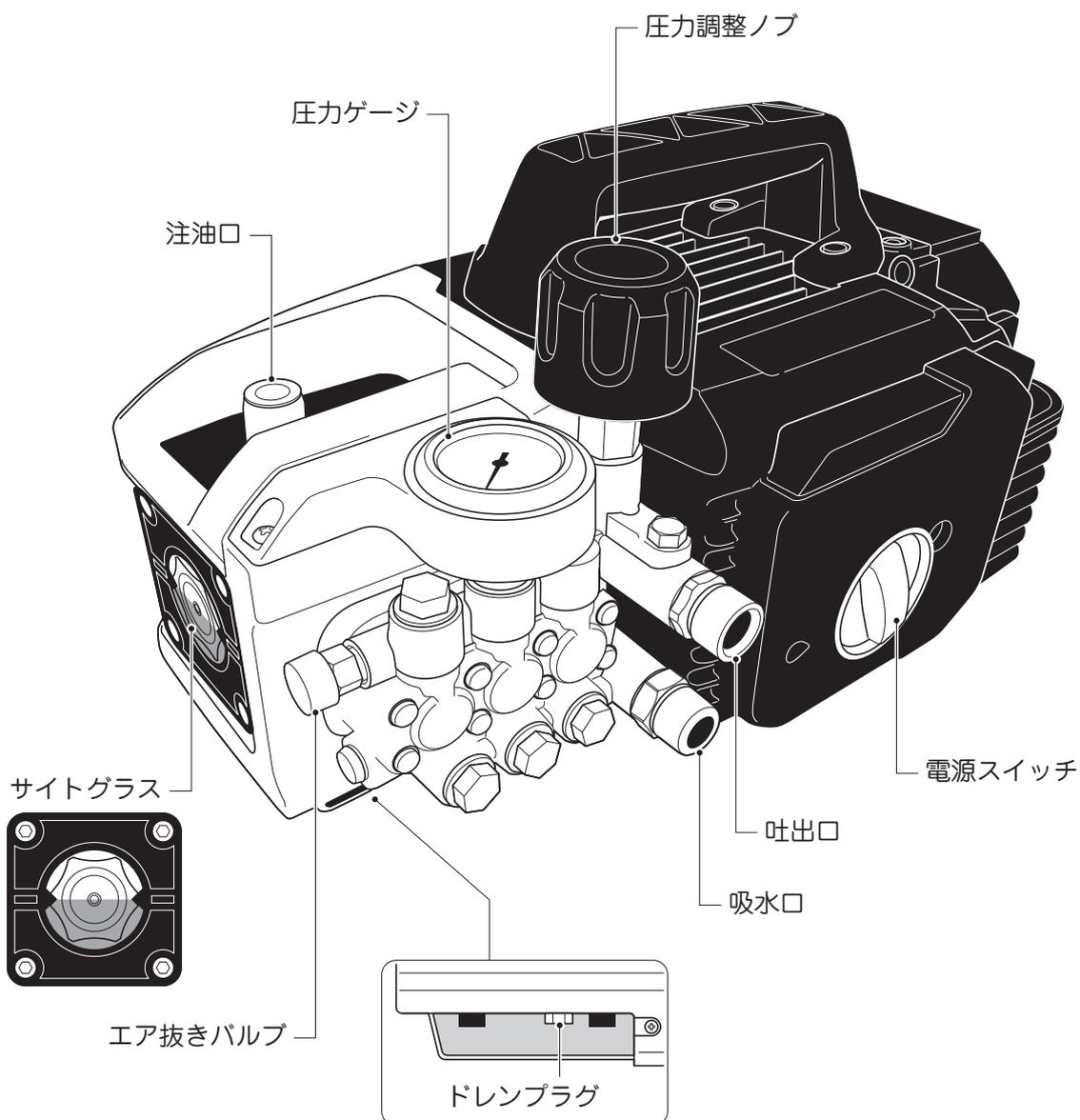
## 注意：保管の時に

- ◆ **冬季など、凍結の恐れのある場合、特にしっかりと水抜き作業を行ってください。**  
ポンプ内に水が残っていると、ポンプが凍結したときに、重大な故障の原因となります。  
また、錆びの発生や、カルキの析出によってポンプが傷んだり、固着する恐れがあります。
- ◆ **0℃以下になる地域では、原動機を始動させて高圧ポンプ及び配管ほか付属品に不凍液を吸水させて保管してください。**

# 高圧洗浄機 8/60・8/60P

## 製品の構成

### 各部の名称



※ 本機には警告シールが貼付してあります。

安全確保のための説明が書かれていますので、きれいに保ち、はがれたりみづらくなったりした場合は、本機をご購入頂いた販売店でお買い求めください。そして必ず同じ場所に貼り直してください。

# HIGH PRESSURE CLEANER 8/60・8/60P

## 仕 様

品 名		高圧洗浄機 8/60 / 高圧洗浄機 8/60P	
コード No.		HD0860 / HD0860P	
ポンプ	圧 力	5.7 MPa (58kg/cm <sup>2</sup> )	
	吐出量	6 L/min (※ 2)	8 L/min (※ 2)
	回転数	1450 min <sup>-1</sup>	1750 min <sup>-1</sup>
	周波数	50Hz	60Hz
	給水可能温度	40℃以下	
	ポンプオイル	4 サイクルエンジンオイル SAE 10W-30	
	ポンプオイル量	約 0.16 L	
モータ	定格電圧	単相 100V (50/60Hz 共用)	
	電気設備容量	20A 以上	
	定格消費電力	1.2kW	1.4kW
給水方式		自吸式・水道直結方式 (※ 3)	
大きさ		380 × 255 × 245 mm	
質 量		15.5kg	

※1 仕様は、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。

※2 表記されています水量はポンプ能力を測定した時の水量です。

※3 水道直結式で使用される場合は、別販売品「HD013 水道直結ホース (5m)」をご使用いただくか、吸水ホース (3m) のストレーナ部を外して (P.13を参照ください)、水道にお繋ぎください。

## 標準付属品

コード No.	品 名	高圧洗浄機 8/60	高圧洗浄機 8/60P
HD00165	トリガーガン A	1	—
HD03300	バリアブルランス A	1	—
HD00003	1/4" 高圧ホース 9.5m (クイック)	1	1
HD03315	吸水ホース組 (1/2" × 3m) 水道直結ツバ付ストレーナ付	1	1
HD03301	バリアブルノズル脱着式 A (SUS ワンタッチ)	—	1
HD03302	1/4" 洗管ホース用ハンドガン A (SUS ワンタッチ)	—	1
HD03303	1/4"N 洗管ホース A コック無 10m (SUS ワンタッチ)	—	1
HD03311	オイルゲージ付キャップ	1	1
IM0598	取扱説明書	1	1
IM0615	8/60 オイルゲージ付キャップ交換の注意喚起シート	1	1
HD108	ノズル掃除棒	1	1

# 高圧洗浄機 8/60・8/60P

## 準備

### 電源の確認

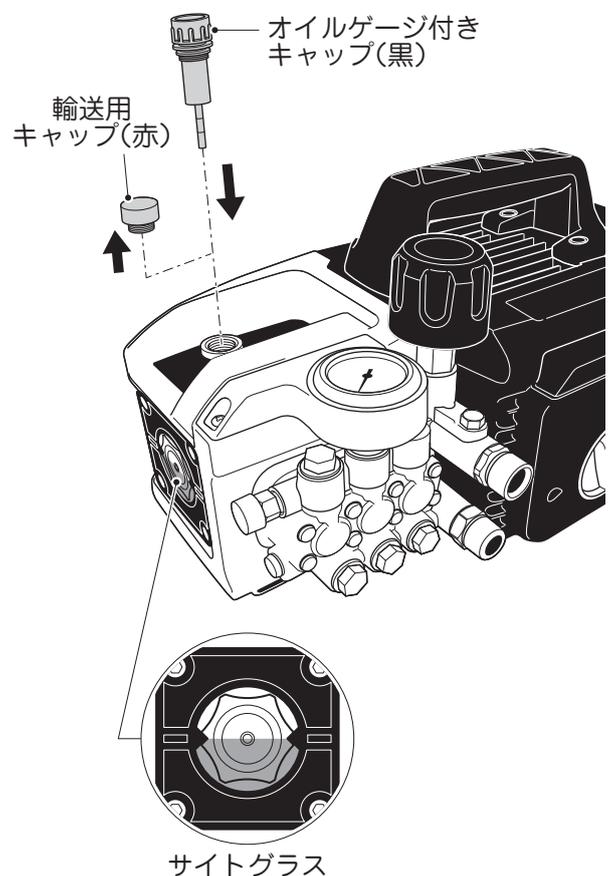
- 感電防止のため、必ず接地（アース）を行ってください。
- 接地工事（地中に接地極アース板、アース棒を埋め、接地線を接続するなどの工事）を行うためには、電気工事士の資格が必要です。お近くの電気工事店にご相談ください。
- 電源に感電防止用遮断装置（労働安全衛生規則 第 333 条および電気設備の技術基準 第 28 条，第 41 条に規定されている装置）が設置されていることを確認してください。（接地線の太さは、1.6mm以上必要です。）
- 電源に過負荷保護装置が設置されていることを確認してください。

### ポンプの確認

- ① ポンプのオイルは工場出荷時に充填されています。
- ② 赤色の輸送用キャップを外して、付属の黒色のオイルゲージ付キャップと交換してください。
- ③ ポンプオイルが、サイトグラス中央まで入っていることを確認してください。

※ もし、ポンプオイルが規定量まで入っていない場合は、サイトグラス中央まで給油してください。

ポンプオイルは、4 サイクルエンジンオイル SAE 10W-30 もしくは、それと同等品をご使用ください。



### ⚠ 注意

- ◆ 輸送用キャップからオイルゲージ付キャップへ必ず交換してください。  
ポンプからのオイル漏れや、本機を破損する恐れがあります。

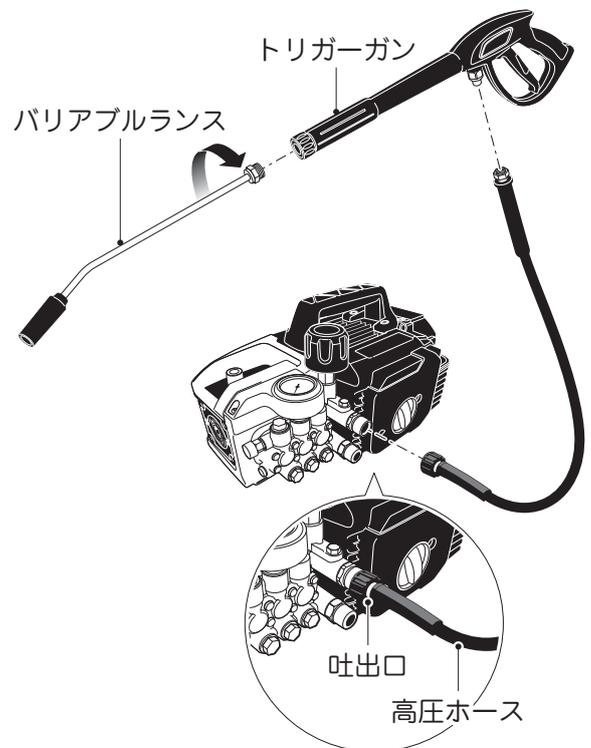
# HIGH PRESSURE CLEANER 8/60・8/60P

## トリガーガン・高圧ホースの接続

### ⚠ 注意

- ◆ ホースの接続前に接続口周辺に砂などの異物が付着していないか確認してください。砂などの異物が付着したまま接続すると、ノズル穴の詰まりの原因となります。
- ◆ 接続時に、各金具に取り付けられているパッキン類に損傷がないことを確認してください。パッキン類に損傷がある場合、能力が発揮されないだけでなく、高圧水が噴出して危険です。

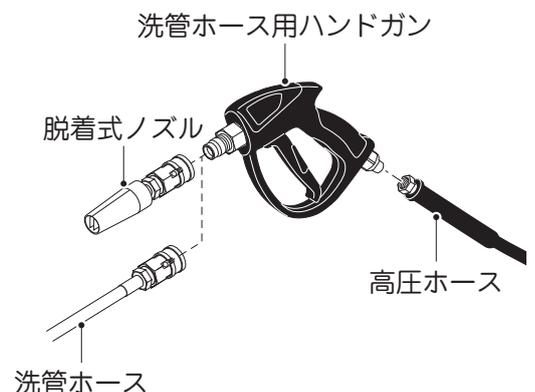
- ① 高圧ホースの本体側（黒いプラスチック側）を本体に、ねじ込んで接続します。



- バリアブルガンの場合（8/60）
- ② 高圧ホースのトリガーガン側をトリガーガンの根元側にスパナ（17mm）で締め込みます。
  - ③ トリガーガン先端部にバリアブルランスをねじ込んで接続します。

- 洗管ホース用ハンドガンの場合（8/60P）
- ② 洗管ホース用ハンドガンに高圧ホースをスパナ（17mm）で締め込み、接続してください。
  - ③ ガン洗浄する場合は、洗管ホース用ハンドガンに脱着式ノズルを差し込み、SUS ワンタッチカプラを確実に接続してください。

管を洗浄する場合は、洗管ホース用ハンドガンに洗管ホースを差し込み、SUS ワンタッチカプラを確実に接続してください。



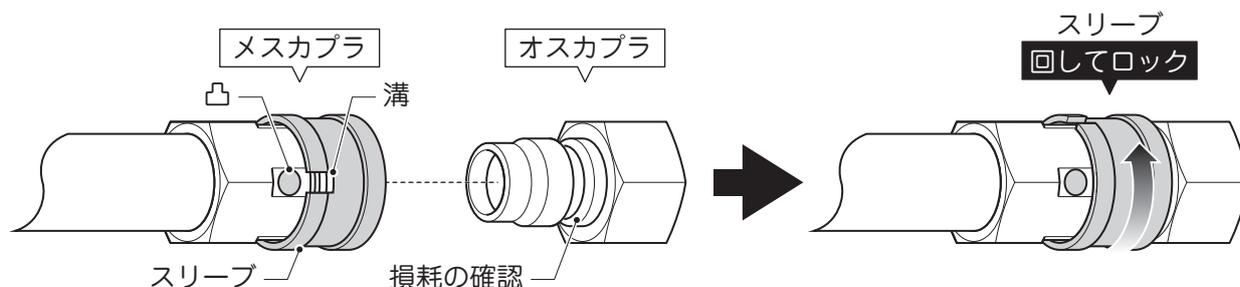
# 高圧洗浄機 8/60・8/60P

## カプラの接続方法（洗管ホース用ハンドガンのノズルや洗管ホース脱着時）

### ⚠ 警告

- ◆ スリーブを回し、必ずロックを実施してください。  
不意に接続がはずれた場合、けがをする恐れがあります。
- ◆ 接続時に、カプラに破損や損傷がないことを確認してください。  
特に、オスカプラのくびれ部分が損耗しているときは、カプラを交換してください。  
カプラに損傷がある場合、能力が発揮されないだけでなく、カプラが外れて大変危険です。

- ① メスカプラとオスカプラを接続します。
- ② ワンタッチカプラのスリーブを回し、カプラをロックします。



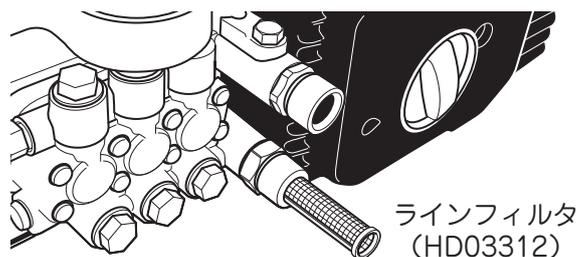
# HIGH PRESSURE CLEANER 8/60・8/60P

## 吸水ホースの接続

### ⚠ 注意

◆ 工業用水や井戸水、泥水、海水、川水などは使用せず、必ず水道水を使用してください。  
ポンプの故障やストレーナの詰まりの原因となります。

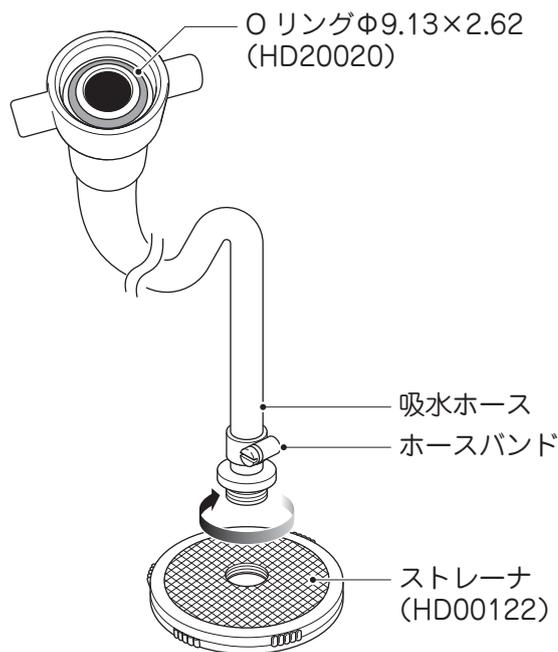
- ① 本体吸水口とラインフィルタに異物が混入していないことを確認してください。



- ② 吸水ホースの本体接続側に O リングがはめ込まれていることとストレーナに異物が混入されていないことを確認してください。

※ O リングが紛失・破損していると、空気を吸ってしまうため、吸水不良になります。

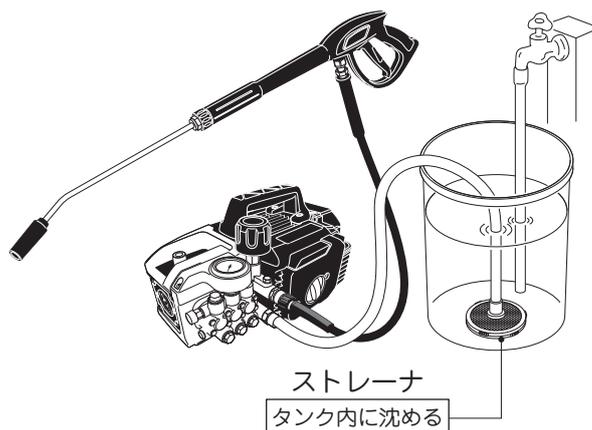
- ③ 吸水ホースとストレーナを取り付けます。  
ストレーナを使用せずにお使いいただくと、故障の原因になります。



- ④ 吸水ホースを本体に接続し、ストレーナを水源に沈めます。

※ 水道に付属品の吸水ホース (3m) を直結するときは、ストレーナ部のホースバンドを外し、ホースを水道へ、直接お繋ぎください。

または、別販売品「HD013 水道直結ホース 5m」をご使用ください。



# 高压洗浄機 8/60・8/60P

## 使用方法

### 始動方法（エア抜き）

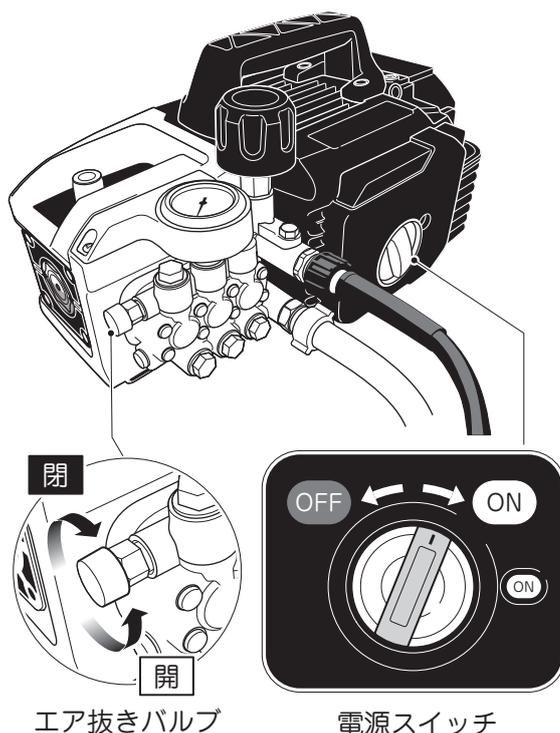
#### ⚠ 警告

- ◆ 濡れた手で電源操作しないでください。  
濡れた手で電源プラグを抜き差ししたり、電源スイッチを操作すると感電する危険があります。

#### ⚠ 注意

- ◆ 電源プラグを差し込むときは、電源スイッチが OFF になっていることを確認してください。  
電源スイッチが ON の状態で電源を差し込むと、本機が急に動き、怪我や故障の原因になります。
- ◆ エア抜きバルブを開く際は、バルブの吐出口から水が噴射されますので、周りには十分注意してください。
- ◆ 必ず吸水し続け、ポンプをドライの状態では運転しないようにしてください。
- ◆ 5 分間以上噴射をしない場合は電源スイッチを OFF にしてください。  
ポンプ内の水が高温になり、ポンプの寿命を縮めるだけでなく、破損する可能性があります。
- ◆ 冬期、水抜きを忘れ、凍結をしていると思われるときは、ぬるま湯などで高压ポンプ及び配管ほか付属品の氷を溶かしてからご使用ください。  
無理に原動機を起動させますと故障の原因になります。

- ① 洗浄機本体の電源スイッチが OFF になっていることを確認して、電源プラグを電源に差し込みます。
- ② 電源スイッチを ON にして、エア抜きバルブを反時計回りに回して開きます。
- ③ エア抜きバルブから水がしっかり出たことを確認したら、エア抜きバルブを閉じます。



# HIGH PRESSURE CLEANER 8/60・8/60P

## 圧力調整方法

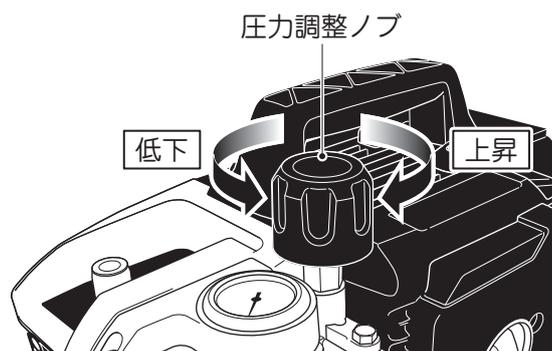
### ⚠ 警告

- ◆ 規定圧力以上に上げないでください。  
規定圧力は P.8 『仕様』 を参照ください。  
ポンプ、高圧ホースなどの破損につながり、破損した破片や高圧水でけがをする恐れがあります。

### ⚠ 注意

- ◆ 圧力は、出荷時に調整して最高吐出圧力になっています。
- ◆ 圧力調整を行った後は、必ず付属の圧力計で圧力の確認を実施してください。  
規定外の圧力で運転を行うと洗浄機が故障するばかりでなく、事故につながる恐れがあります。

- 圧力調整ノブを左に回すと圧力が低下し、右に回すと圧力は上昇します。
- ※ 出荷時は最高圧力に設定されていますので、それ以上に上げないでください。  
上げ過ぎますと、始動しない、電源ブレーカが作動するなどの症状が起き、本機を損傷する恐れがあります。

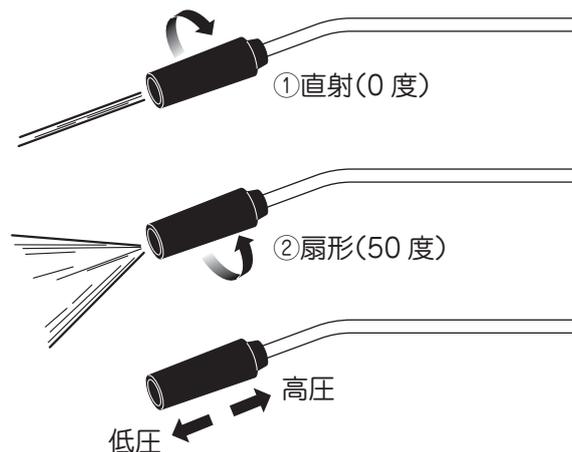


## 洗浄作業

### ⚠ 注意

- ◆ 通常、始動後 10 秒程度で吸水します。  
それ以上経っても吸水しない場合は、異常が想定されますので、運転を中止して原因を調べてください。  
(P.21 「修理・サービスを依頼される前に」を参照)

- ① ノズルボディを左右に回すことで噴射角度が 0° ~ 50° まで無段階に調整が可能です。
  - ② ガンをしっかり固定し、トリガーを引いた状態で電源スイッチを ON にします。
  - ③ 噴射水が安定するまでしばらく放水します。  
同時に各接続箇所から水漏れが発生していないか確認してください。
  - ④ ノズルを対象物に向け、トリガーを引いて洗浄します。
  - ⑤ トリガーを放すと噴射が止まります。
- ※ ノズルを手前に引くと高圧噴射に、前方に押し出すと低圧噴射になります。洗浄作業は、高圧側で行います。



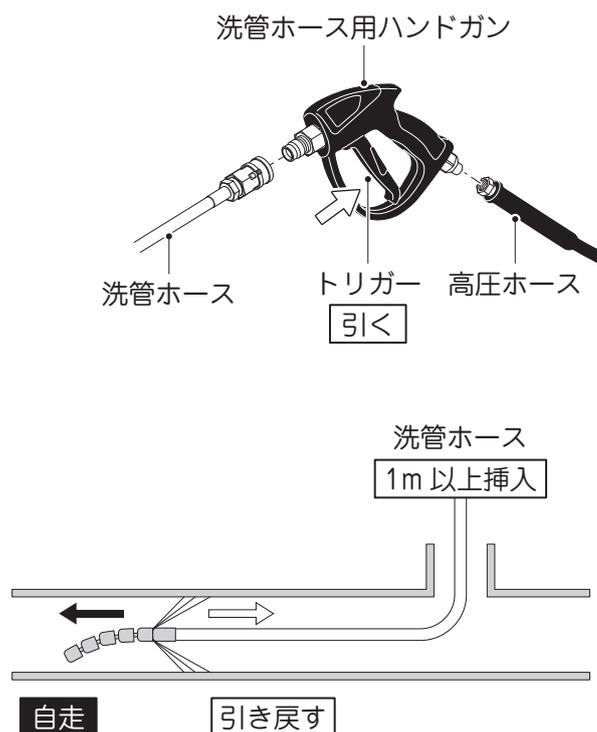
# 高圧洗浄機 8/60・8/60P

## 洗管ホースの使用法

### ⚠ 注意

- ◆ 洗管ホースを引き戻すとき、エルボなどの継手類に引っかかる場合があります。この場合に無理に引っ張ると先端のノズルなどが外れることがありますので、慎重に引き戻し、引っかった場合は、再度前進後退を繰り返してください。
- ◆ 洗管ホースは、それぞれの機種（能力）により噴射口の穴径などが異なりますので、本取扱説明書 別販売品の欄およびカタログなどを参考に適した洗管ホースを選定してください。  
能力の異なる洗管ホースを使用されますと、適正な能力が発揮できないほか機械が損傷する恐れがあります。

- ① 洗管ホース先端を洗浄対象のパイプの中へ1 m以上挿入します。
  - ② 電源を入れて、洗管ホース用ハンドガンと洗管ホースをしっかりと保持します。
  - ③ トリガーを引くことで、洗管作業を開始します。
- ※ 洗管ホースは保持を緩めると水圧によって自ら進んでいきますが、引き戻したりして前進後退を繰り返すことによって、洗浄効率がより高くなります。



# HIGH PRESSURE CLEANER 8/60・8/60P

## 作業の終了と水抜き方法

※ ポンプに水が残っていると、ポンプを傷めたり、カルキの析出によってポンプが固着する恐れがあります。

### ⚠ 警告

- ◆ **運転中や停止直後は、ポンプやその周辺が大変高温になっています。**  
移動や収納の際に触れないようにしてください。  
火傷をする恐れがありますので、絶対に触れないでください。  
本機の上に物を載せないでください。
- ◆ **噴射後ポンプを停止しても高圧ホース内に高圧水が残っていますので、トリガーを引いて残圧を抜いてください。**  
不意にトリガーが引かれた際、高圧水が噴射され危険です。  
残圧が残っていると機械が始動しないことがあります。

### ⚠ 注意

- ◆ **吸水しないでポンプを運転する空運転は 1 分以上行わないでください。**  
ポンプが破損する恐れがあります。
- ◆ **冬期、凍結の恐れのある場合は、特にしっかりと水抜きの作業を行ってください。**  
ポンプが凍結しますと重大な故障の原因となります。  
0℃以下になる地域では原動機を始動させて高圧ポンプ及び配管ほか付属品に不凍液を吸水させて保管してください。

- ① ガンのトリガーを放して噴射を止め、本機の電源スイッチを OFF にします。
- ② 吸水ホースを水源からあげて、ガンのトリガーを引き高圧ホース内の残圧を抜きます。
- ③ 高圧ホースからガンを外し、ガン内の水を抜きます。  
ガンの先端を上に向けてトリガーを引くと、容易に水が抜けます。
- ④ 高圧ホースと吸水ホースを、本体から外し、ホース内の水を抜きます。
- ⑤ 電源スイッチを ON にして 10 秒間空運転をし、ポンプ内から水がでなくなるまで運転させます。

※ 空運転は 1 分以上行わないでください。

- ⑥ 電源から電源プラグを抜きます。
- ⑦ 外部を布で拭き、湿気・ほこりを防げる場所に保管してください。

※ 洗管ホース用ハンドガンでも同様の作業を行ってください。

# 高压洗浄機 8/60・8/60P

## 保守・点検

### ストレーナとラインフィルタの点検

- 本機には、水の中に含まれているゴミなどを取り除くために、吸水ホースのストレーナを設けています。

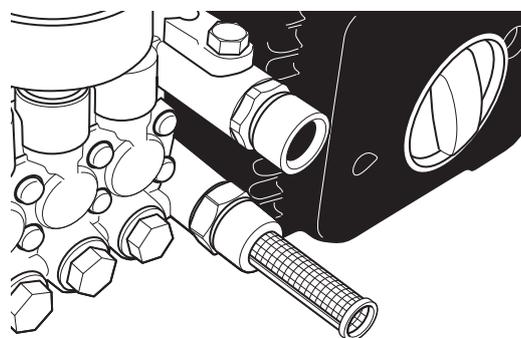
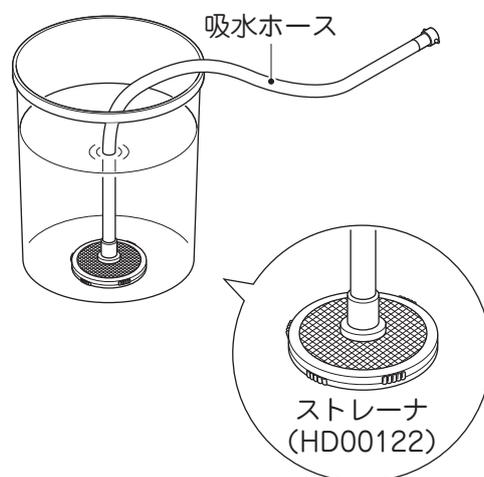
ストレーナが詰まると下記のような症状が発生しますので、定期的に点検し、清掃してください。

- ・まったく吸水しない。または、断続的に吸水している。
- ・高压ホースが異常に振動する。
- ・圧力が規定値まで上昇しない。または安定しない。

- 点検・清掃はストレーナの金網を損傷させないように慎重におこなってください。  
万一損傷がある場合は、必ず新品と交換してください。

- 長期間（1ヶ月以上）使用しなかった場合は、使用前にストレーナを清掃・点検してください。

- 本機は、吸水ホースのストレーナのほかに、ポンプの吸水にラインフィルタを装備しています。  
これは、より細かいゴミなどの異物を取り除くためのもので、時々点検、清掃を実施してください。

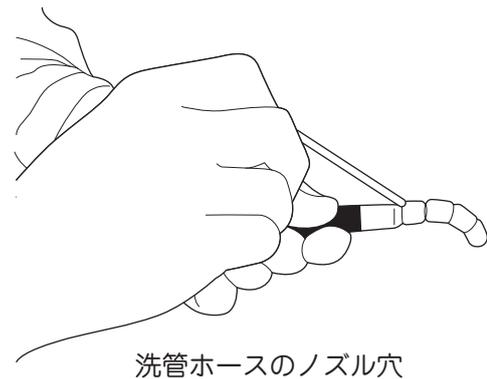


ラインフィルタ (HD03312)

# HIGH PRESSURE CLEANER 8/60・8/60P

## ノズルの清掃作業

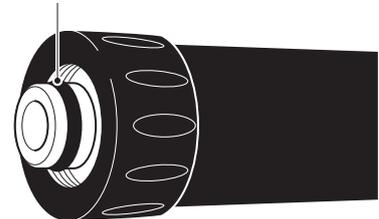
- 全く水が噴射されない、水の噴射が少ない、圧力が異常に高いまたは低い、真っ直ぐ噴射されないなどの症状は、ノズルの詰まりが予想されます。
  - ノズルは消耗品です。  
他の部品に異常がなく、圧力が低い場合はノズルの交換が必要と考えられますので、交換してください。  
交換頻度は、使用時間・水道水のミネラル類の含有量によって異なりますが、およそ圧力が既定値の85%以下になった場合は、交換が必要です。
- ① ガンにバリアブルランスや、バリアブルノズル、洗管ホースがついているときは、取り外します。
  - ② ノズル穴に付属のノズル掃除棒などを差し込んで、回しながら詰まっている異物を取り除いてください。
  - ③ ノズル穴から水を流して、完全に異物を取り除きます。
  - ④ 組み付けて異常がないことを確認してください。
  - ⑤ 上記の作業を行っても不具合が解消されない場合は、お買い上げの販売店もしくは弊社営業所まで連絡をお願いします。



## その他の点検作業

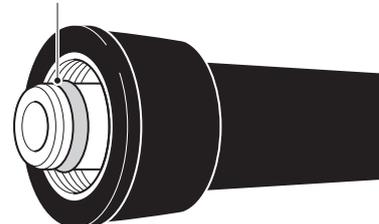
- 高圧ホースの損傷、接続の緩みなどを常に点検してください。  
また、必要に応じて新品と交換、またはお買い上げになった販売店などにご連絡ください。
- 高圧ホースやトリガーガンなどの接続部分に組み込まれています。Oリングに損傷がないことを確認してください。
- 電源コードや電源プラグの損傷、接続の緩みなどを常に点検してください。  
また、必要に応じて新品と交換、またはお買い上げになった販売店などにご連絡ください。

Oリング (HD91000)



トリガーガン

Oリング (HD91000)



高圧ホース

# 高圧洗浄機 8/60・8/60P

## ポンプオイルの点検・交換

### ⚠ 警告

- ◆ 作業終了直後は、ポンプが高温になっています。  
ポンプやポンプオイルには直接触れないでください。  
やけどをする恐れがあります。
- ◆ オイル交換後は、適量を入れて確実にオイルキャップを締め、漏れがないようにしてください。  
オイルゲージ付キャップの空気抜き穴からの少量の油漏れは異常ではありません。  
オイルが適正でないとポンプが破損します。

ポンプオイル 交換時期	1 回目	運転 50 時間後
	2 回目以降	運転 200 時間後
オイルの種類	4 サイクルエンジンオイル SAE-10W30 または SAE30 番のいずれかのグレード	
オイル量	約 0.16L	

- ポンプオイルは出荷時に給油しています。
- 交換作業は洗浄作業完了後、ポンプ（ポンプオイル）が暖かいうちに行ってください。  
そうすることによって、ポンプオイルの排出が早くできます。

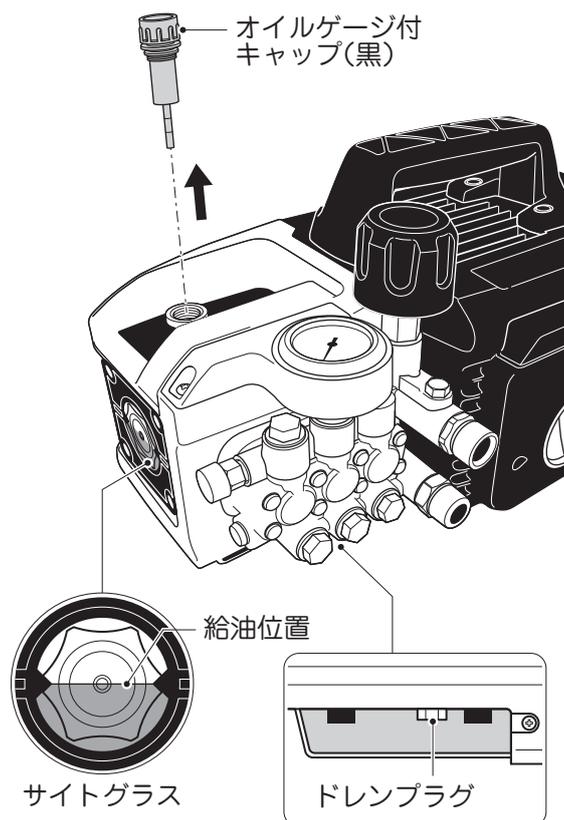
- ① オイルゲージ付キャップを外し、オイルの色を確認します。

白濁・変色が見られる場合には、交換時期に達していない場合でもポンプオイルを交換してください。

また、交換してもすぐに白濁が見られる場合は、オイルシールの劣化等による水の混入が疑われますので、修理をご依頼ください。

- ② ポンプの下にオイル受けを用意し、ポンプ下側のドレンプラグを取り外してポンプオイルを抜いてください。
- ③ オイルが抜けましたら、ドレンプラグを確実に締め、給油口からオイルを入れてください。
- ④ サイトグラスを確認し、サイトグラス中央までポンプオイルを給油してください。

※ オイル交換の時期、オイルの種類は表に従ってください。



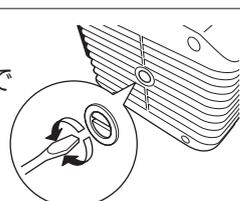
# **HIGH PRESSURE CLEANER 8/60•8/60P**

---

# 高圧洗浄機 8/60・8/60P

## 修理・サービスを依頼される前に

- 修理・サービスを依頼される前に下記の故障診断にしたがって点検してください。  
それでも解決されない場合は、お買い上げの販売店または弊社営業所にご相談ください。
- 正しくご使用いただかない場合や、本商品の用途以外に使用して故障した場合は、保証の対象外となります。

状 況	原 因	処 置
モーターが始動しない (起動音がしない)	電気がきていない	電源を確認する
	電源プラグの接触不良	電源プラグをしっかり差し込む
	サーモプロテクタの起動	30分程時間をおく
	本機が漏電している	点検・修理をご依頼ください
モーターが始動しない (起動音はする)	電圧が低い	電源の電圧を確認する 延長コードを使用しない タコ足配線をしない
	高圧ホースに残圧がある	ガンを握って、圧を逃がす
	ポンプ内が凍結している	ゆっくりと解氷する
	ポンプが固着している	マイナスドライバーで モーター軸を回す   ※必ず電源プラグを抜いて、電源スイッチをOFFにしてから行ってください
	ポンプの動きが硬い	点検・修理をご依頼ください
モーターが突然止まる	サーモプロテクタが作動した	30分程時間をおく 電源の電圧を確認する 延長コードを使用しない タコ足配線をしない
	モーターの故障	点検・修理をご依頼ください
吐出水量が少ない (吐出してない) or 吸水水量が少ない (吸水してない)	本機への供給水量が少ない	必要な水量を確保する
	エア抜きができていない	エア抜きバルブを開いてエア抜きをする
	ポンプと水面の高さが2m以上ある	2m以内にする
	吸水口のラインフィルタ、またはストレーナが詰まっている	詰まりを取り除く
	ノズル穴が詰まっている	詰まりを取り除く
	吸水ホースの破損	吸水ホースを交換する
	吸水ホースの本体接続部のOリングが消耗	Oリングの交換
	ポンプ内の逆止弁が固着している	水道に吸水ホースを直結して圧力水を送る 点検・修理をご依頼ください

# HIGH PRESSURE CLEANER 8/60・8/60P

状 況	原 因	処 置
圧力が上がらない	ノズルが低圧側になっている	高圧側へ切り替える
	アンローダバルブが低圧になっている	圧力調整ノブを閉めこむ
	本機への供給水量が少ない	必要な水量を確保する
	エア抜きができていない	エア抜きバルブを開いてエア抜きをする
	ポンプと水面の高さが2m以上ある	2m以内にす
	吸水口のラインフィルタ、またはストレーナが詰まっている	詰まりを取り除く
	ノズル穴が詰まっている	詰まりを取り除く
	ノズルが消耗している	ノズルを交換する
	吸水ホースの破損	吸水ホースを交換する
	吸水ホースの本体接続部のOリングが消耗	Oリングの交換
	ポンプまたはアンローダバルブが故障している	点検・修理をご依頼ください
ポンプ内の逆止弁が固着している	水道に吸水ホースを直結して圧力水を送る 点検・修理をご依頼ください	
圧力が不安定、高圧ホースが振動する	エア抜きバルブが開いている。	エア抜きバルブを閉じる
	吸水口のラインフィルタ、またはストレーナが詰まっている	詰まりを取り除く
	吸水ホース、または高圧ホースの破損	点検・交換をする
	各接続部が緩んでいる	締め直す
	各パッキン・Oリング類が消耗している	点検・交換する
	水温が高い	40℃以下にする
水漏れ	各接続部が緩んでいる	締め直す
	各パッキン・Oリング類が消耗している	点検・交換する
オイル漏れ	オイルシールが外れている オイルシールが消耗している	点検・修理をご依頼ください

## ●お客様メモ

後日のために記入しておいてください。  
お問合せや部品のご用命の際にお役に立ちます。

製造番号 :  
購入年月日:      年      月      日  
お買い求めの販売店

# Asada アサダ株式会社

本 社 / 名古屋市北区上飯田西町3-60      TEL (052) 911-7165      E-mail: sales@asada.co.jp

製品の使用方法に関するお問合せは

☎ 0120-114510 (イシゴト)

(受付時間) 9:00-12:00 / 13:00-17:00 (土・日・祝日は除く)

支 店 / 東京・名古屋・大阪  
営業所 / 札幌・仙台・さいたま・横浜  
          広島・福岡

### 海外事業所

アサダ・タイランド社	(バンコク)	アサダ・インド社	(ムンバイ)
台湾浅田股份有限公司	(台北)	上海浅田進出口有限公司	(上海)
アサダ・ベトナム社	(ホーチミン)	アサダ USA	(カリフォルニア)

### 工 場

犬山工場	(愛知県・犬山市)
アサダ第一精工株式会社	(松 阪 市)
アサダ・マシンリー社	(バンコク)

[www.asada.co.jp](http://www.asada.co.jp)

Ver.02 コード No. IM0598